

令和4年度9月補正予算（追加提案分）の概要

【補正規模】

（単位：百万円）

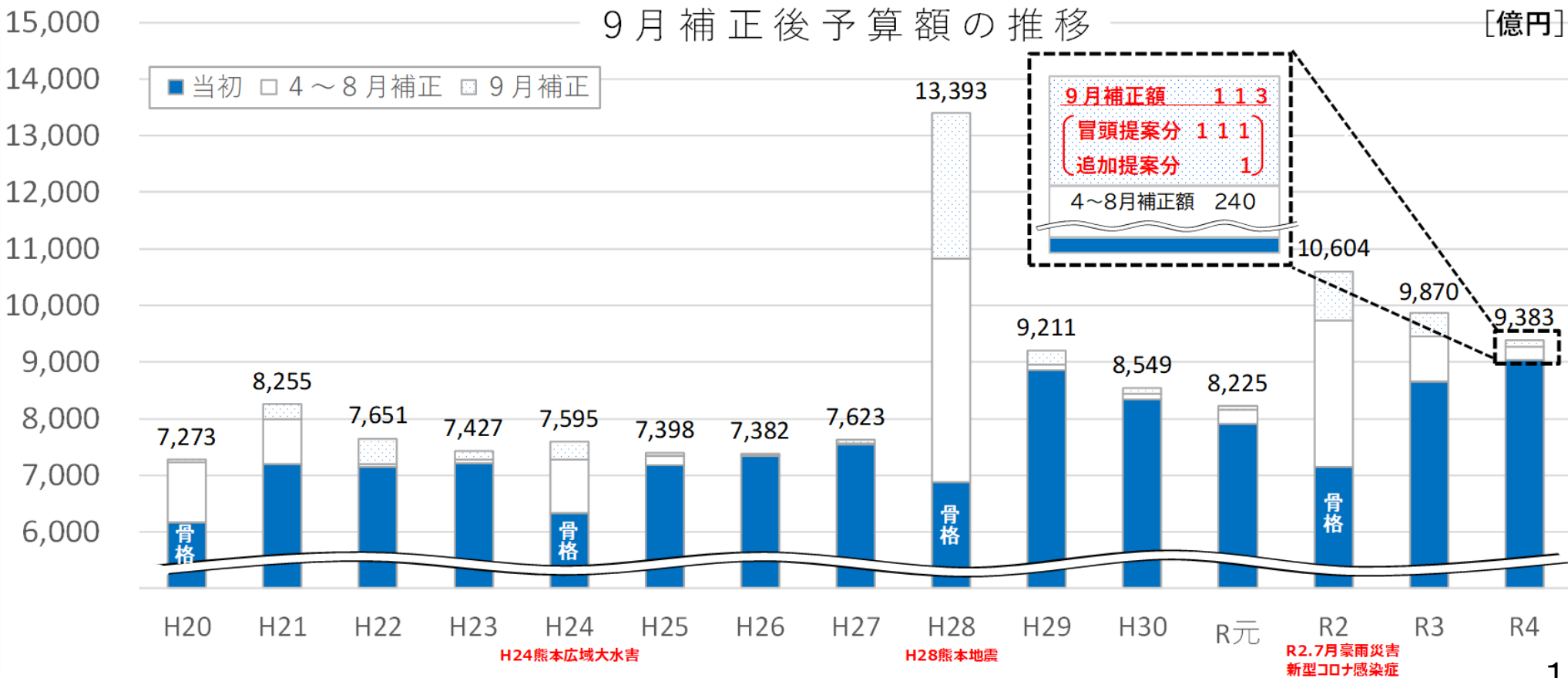
- ・ 現計予算額 927,007 (①)
- ・ 9月補正予算額（冒頭提案分） 11,129 (②)
- ・ **9月補正予算額（追加提案分） 140 (③)**

(③の財源内訳) 国庫支出金 45(*) 繰越金 95
 ※国庫支出金の内訳 地方創生臨時交付金 45

9月補正後予算額(①+②+③) 938,276

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがある

9月補正後予算額の推移 [億円]



赤潮被害にあった養殖業者の早期事業再開等に向けた支援 新

予算額1億40百万円 (95百万円)
赤潮被害経営再建緊急支援事業 [水産振興課]

- 令和4年7月にカレニア赤潮が発生し、養殖のシマアジやトラフグなどが大量にへい死。被害額は約19億円となり、平成12年度に次ぐ、過去2番目の大きな被害となった。新型コロナウイルスの感染拡大による売上減少、原油価格及び物価高騰が続く中で、赤潮被害で、本県養殖業者は、非常に厳しい経営を強いられている。
- 本県水産業の中心となる養殖業が持続可能な産業として維持・発展できるよう、共済加入促進と必要な支援を行う。

<赤潮の発生及び被害状況>

(1) カレニア赤潮の発生状況について

7月27日：天草市御所浦町地先で、警報発令基準値
(海水1ml当たり1,000細胞以上) を超えるカレニアを確認。

八代海に赤潮警報を発令。

8月8日：津奈木町から被害発生第一報あり。

8月12日：上天草市からも被害発生第一報あり。

8月15日：天草市志柿地先で、警報発令基準値を超えるカレニアを確認。**有明海にも赤潮警報を発令。**

8月31日：8月29～30日の調査でカレニアの細胞数が警報解除基準(海水1ml当たり100細胞未満)に達したため、**赤潮警報を解除。**



<目的・概要>

(1) へい死魚処理支援

市町が行うへい死魚処理に要する経費を支援。

(2) 中間魚購入支援

養殖業者が早期事業再開に必要な中間魚を購入する際の経費を支援。
※養殖共済未加入の養殖業者に対しては、養殖共済加入を条件に支援

(3) 赤潮の早期駆除に必要な駆除剤購入支援

今後の赤潮発生に備え、赤潮プランクトンの駆除剤を購入する経費を支援。

○事業費 (1)0.4百万円 (2)1億35百万円 (3)4百万円

○事業主体 (1)市町(上天草市、天草市、芦北町、津奈木町)

(2)養殖業者、漁業協同組合

(3)熊本県海水養殖漁業協同組合

○事業期間 令和4年度

○負担割合 (1)県1/3、市町2/3

(2)共済で補填できない部分の1/2 ※を県と市町で按分

※1/3をコロナ被害を考慮し、1/2に拡充 一部コロナ臨時交付金

(3)県10/10

【既存制度】

金融制度

国制度(H28創設)による資金繰り支援
・漁業近代化資金
・農林漁業セーフティネット資金
⇒漁業経営基盤強化金融支援事業により無利子化

養殖共済

養殖水産動植物の死亡、流失等による損害(養殖経費の一部)を補償
※国・県・市町の補助により、漁業者の掛金負担 約3割
※赤潮特約は漁業者負担ゼロ(国 2/3と県 1/3(R4: 22,356千円))で全額負担

(2) 被害状況について

平成12年に次いで、過去2番目となる、約19億円(R4.9.9現在)の大規模な被害が発生

養殖魚214.8万尾、養殖貝類76.8万個がへい死

本県における過去に発生した赤潮被害の発生状況

年	原因赤潮	被害額 (百万円)	被害数 (千尾又は千個)	主な被害魚種
H2	シャットネラ	1,054	872	ブリ、マダイ
H12	コックロディニウム カレニア、シャットネラ	4,014	3,115	ブリ、カンパチ、シマアジ、 トラフグ、アワビ
H14	ヘテロカプサ	91	1,651	アコヤガイ
H15	シャットネラ	619	412	ブリ、トラフグ、カンパチ
H21	シャットネラ	870	621	ブリ、トラフグ、カンパチ
H22	シャットネラ	1,595	1,081	ブリ、カンパチ、シマアジ
R4	カレニア	1,925	2,916	シマアジ、トラフグ、カンパチ マダイ、アコヤガイ

<イメージ図>

中間魚購入支援について

○補助対象魚種

養殖共済の対象魚種(ブリ、マダイ、トラフグ、カンパチ、シマアジ、マアジ、カワハギ、アコヤガイ)

○補助対象経費

中間魚の購入に要する経費

